

福祉保健研修交流センター ウィリング横浜
平成 28 年度 事業報告書

1 施設の運営に関すること

福祉保健人材の開発、育成の拠点である福祉保健研修交流センター ウィリング横浜の情報提供・交流支援・福利厚生等の事業の充実を図りました。

施設利用者数

	26 年度	27 年度	28 年度
利用者数 (人)	218,864	212,384	209,673
研修室等	170,681	166,512	165,822
情報資料室	11,832	11,779	10,775
レストラン	36,351	34,093	33,076

(1) 研修室等の貸出事業

幅広い層の福祉保健活動従事者に研修施設及び付帯設備を提供するとともに、支障のない範囲で一般の方々にも施設を提供しました。

一部の研修室にて空調機器の故障が発生したため使用を中止し、利用者への周知・代替研修室の案内を速やかに行いました。

研修室・討議室を合計した貸出状況

	26 年度	27 年度	28 年度
貸出室数 (室)	13,817	13,678	13,275
稼働率 (%)	61.6	61.0	61.3

【参考】研修室・討議室・実習室を合計した貸出状況

	26 年度	27 年度	28 年度
貸出室数 (室)	15,269	14,857	14,439
稼働率 (%) ※	59.6	58.0	58.1
研修室	64.3	63.1	61.0
討議室	56.1	57.0	61.9
介護実習室	52.6	41.7	42.0
調理実習室	30.8	27.1	25.0

※和室稼働率 38.1% (空調機器の故障のため平成 28 年 4 月～6 月までの稼働率)

(2) 情報資料室の運営

社会福祉・保健関連分野の図書・資料などの収集・提供を行いました。また、インターネットで図書の検索ができるシステムの運用を行い、市民に利用しやすい情報提供を行いました。

研修や研究発表大会と連携して、テーマ毎に設定した書籍・定期刊行物等を展示する「企画展」を開催し、多くの方にご利用いただきました。

①収集整備状況

	26年度	27年度	28年度	所蔵数
図書・資料（点）	349	435	474	38,555
合冊製本（点）	72	66	90	5,181
逐次刊行物（点）	868	869	800	21,761
ビデオ・DVD（点）	10	21	31	1,145
合計	1,299	1,391	1,395	66,642

②利用状況

ア．利用者数・館外貸出数

	26年度	27年度	28年度
利用者数（人）	11,832	11,779	10,775
貸出数（件）	5,735	5,975	5,397

イ．登録者数

	26年度	27年度	28年度
登録者数（人）	372	384	343

ウ．インターネットブースの貸出

	26年度	27年度	28年度
貸出件数（件）	16	16	1

③企画展

	期間	テーマ	連携講座等	閲覧者数 （人）
1	9月17日 10月1日	「社会福祉士への道 ～情報資料室から社会福祉士を目指すみなさまへ～」	公益財団法人 神奈川県社会福祉士会 （社会福祉士受験対策講座&模試）連携	120
2	9月23日～10月18日	「障害を理解する ～読んで知って つながる～」	ウィリング横浜主催研修 （障害者相談支援従事者初任者研修）連携	319
3	12月13日～12月27日	「こころもからだも元気な自分に～ストレスと上手に付き合おう～」	ウィリング横浜主催研修（管理者のためのメンタルヘルス対策研修）連携	139
4	3月7日～3月20日	「みんなで福祉 ～知って つながり ひろげよう～」	第1回ウィリング横浜 サントクフェスティバル連携	149

（3）ご意見・苦情等の受付

①ご意見箱

館内に設置してあるご意見箱より11件（27年度：19件）のご意見をいただき、改善に向けた対応を行いました。また、寄せられた苦情は、0件（27年度：1件）でした。

②窓口満足度調査

来館者に対する窓口満足度調査（11月）を行い、328件の回答をいただき、サービス改善に役立てました。

2 施設の維持に関すること

利用者にとって使い心地の良い施設となるため、施設・設備の維持に努めました。

(1) 建物・設備機器修繕業務

建物や設備機器の修繕を26件（研修室関係23件、情報資料室3件）行いました。

臨時休館日や貸出室の利用のない時間帯に設備点検等を実施し、設備の保守及び小破修繕に努めました。

(2) 清掃業務

良好な環境衛生や美観の維持を心がけ、施設として安全かつ快適な空間を保つため、日常清掃と定期清掃を実施しました。

(3) 水質管理業務

調理実習室及び介護実習室Ⅰに配管している中央循環式給湯設備のレジオネラ菌検査を1回行いました。

(4) 警備関係業務

年中無休、24時間体制で施設の防犯、保安管理に努めました。また、防犯カメラにより、防犯上重要箇所の映像を記録しました。

3 施設で実施する事業に関すること

(1) 研修事業

福祉保健従事者及び民生委員児童委員等の活動者を対象とする、公共性の高い研修機関として「よこはま福祉人材育成指針」に求められる人材育成を推進するため、63件の研修を実施しました。研修コンセプトの「組織力の向上」と「地域福祉の概念普及」を意識し、「地域力を高める」の研修では地域でのネットワーク作りができる人材の育成を目的とした研修を実施しました。

研修事業の年次推移（指定管理外事業を除いた実績を表示）

	26年度	27年度	28年度
研修件数（件）	62	70	63
研修コース数（コース）	82	90	74
研修受講者数（人）	4,682	4,735	4,749
研修開催日数（日）	115	116	98

①組織力を高める：26件

組織人、職業人として、各々の職員が職務階層別に求められる役割行動を理解し、自らのキャリアデザインを描くこと、そして、組織活動を円滑かつ効果的にすすめるための知識や技術の修得を目的として実施しました。

	研 修 名	コース数 (コース)	合計日数 (日)	合計定員 (人)	受講者数 (人)
1	〔生涯研修課程Ⅰ〕 管理職員研修	1	2	36	29
2	〔生涯研修課程Ⅱ〕 チームリーダー研修	2	4	72	70
3	〔生涯研修課程Ⅲ〕 中堅職員研修	2	6	72	56
4	〔生涯研修課程Ⅳ〕 初任者研修～社会人経験者編～	2	6	72	55
5	〔生涯研修課程Ⅴ〕 初任者研修～新卒者編～	2	6	72	37
6	トップセミナーⅠ ～社会福祉法人の制度改革と、今後の経営戦略について～	1	1	60	32
7	トップセミナーⅡ（横浜市社協・神奈川県社協・川崎市社協・相模原市社協共催） ～人が育つ職場づくりのために、今、トップがすべきこととは～	1	1	200	136
8	社会福祉施設の経営基礎	1	1	36	13
9	スパービジョンの基礎理解 ～人材育成を効果的にすすめるために～	1	1	36	40
10	リーダーシップ基礎研修	1	1	36	46
11	後輩育成担当者のためのOJT研修	1	2	36	30
12	後輩育成のためのOJT基礎研修	1	2	36	36
13	「社会福祉の専門性 ～利用者主体の支援を考える～」	1	1	36	21
14	管理者のためのメンタルヘルス対策研修	1	1	36	24
15	チームリーダー・中堅職員のためのセルフマネジメント研修	1	1	36	33
16	組織で取組むリスクマネジメント研修 ～効果的なリスク管理を目指して～	1	1	36	21
17	サービスの質の確保・向上とリスクマネジメント研修	1	1	36	39
18	リスクマネジメントの視点からみる業務マニュアル作成・活用研修	1	1	36	40
19	苦情対応基礎研修	1	1	36	35
20	中堅・チームリーダー職員のための接遇研修	1	1	42	42

21	新卒者のための接客研修	1	1	42	30
22	サービスレベルアップのための記録の書き方・読み方研修	1	1	54	43
23	伝える、伝わる記録の書き方研修	1	1	36	53
24	社会福祉法人新会計基準対応研修 基礎編	1	2	30	47
25	社会福祉法人新会計基準対応研修 応用編	1	2	30	51
26	労務管理研修	1	2	42	52
計 26件		30	50	1,292	1,111

②専門力を高める：25件

福祉保健従事者として求められる社会福祉実践の原則や、自らのスキルアップを目的とした知識、技術の修得を目的として実施しました。

	研 修 名	コース数 (コース)	合計日数 (日)	合計定員 (人)	受講者数 (人)
1	〔社会福祉援助技術研修Ⅰ〕 社会福祉援助技術の基礎研修～支援とは何か～	1	1	36	31
2	〔社会福祉援助技術研修Ⅱ〕 面接技術～相談面接・生活場面面接を学ぶ～	1	2	36	32
3	〔社会福祉援助技術研修Ⅲ〕 アセスメント技術～利用者の心の中を理解する～	1	1	36	48
4	障害者支援基礎研修 ～利用者本人の「思い」に寄り添うために～	1	1	36	39
5	口から食べることをチームで支援しよう！	1	1	50	43
6	チームで認知症ケアを実践！	1	1	36	25
7	医療機関との連携の進め方	1	1	36	32
8	新任介護職員基礎研修	2	2	72	28
9	理学療法士から学ぶ移動介助技術 基礎編	1	1	36	30
10	理学療法士から学ぶ移動介助技術 応用編	1	1	36	19
11	レクリエーション研修	1	1	48	41
12	認知症高齢者のケア～認知症高齢者の日常を支えるケアとは～	1	1	48	60
13	制度を学ぶ研修Ⅰ～障害者総合支援法～	1	1	60	44

14	制度を学ぶ研修Ⅱ～生活保護制度入門～	1	1	60	83
15	制度を学ぶ研修Ⅲ～親なき後の成年後見～ (障害分野の従事者向け)	1	1	48	35
16	制度を学ぶ研修Ⅳ～成年後見を支援に活かす7つのポイント～	1	1	48	46
17	制度を学ぶ研修Ⅴ～生活困窮者自立支援制度～	1	1	60	46
18	制度を学ぶ研修Ⅵ～横浜市の福祉施策～	1	1	60	56
19	コミュニケーション研修	1	1	50	48
20	コミュニケーション研修 (出張型)	1	1	50	47
21	プレゼンテーション研修	1	1	49	48
22	プレゼンテーション研修 (出張型)	1	1	42	37
23	ファシリテーション研修	1	2	36	43
24	脳の構造と脳卒中	1	1	50	22
25	うつ病の正しい知識を学ぶ	1	1	50	75
計 25 件		26	28	1,169	1,058

③地域力を高める：6件

地域貢献の理解（専門知識・技術の地域還元等）を深め、地域協働について主体的に気づき・考え・行動することを目的として研修を実施しました。

	研 修 名	コース数 (コース)	合計日数 (日)	合計定員 (人)	受講者数 (人)
1	地域福祉つなぎ隊研修	1	3	36	22
2	福祉保健施設のためのボランティア研修	1	1	36	16
3	福祉施設職員のための「地域とのつながり」講座	1	1	36	24
4	小地域福祉活動推進研修	1	1	1,000	357
5	地域ケアプラザ所長研修	1	1	141	103
6	制度を学ぶ研修Ⅶ 介護予防・日常生活支援総合事業研修	1	1	80	77
計 6 件		6	8	1,329	599

④横浜市民生委員児童委員研修：6件

民生委員児童委員、主任児童委員の方を対象とした、各種研修を実施しました。

研 修 名		コース数 (コース)	合計日数 (日)	合計定員 (人)	受講者数 (人)
1	地区会長研修	1	1	260	206
2	中堅リーダー養成研修 ①	4	4	260	222
3	中堅リーダー養成研修 ②	4	4	260	220
4	主任児童委員研修	1	1	540	346
5	新任民生委員児童委員研修	1	1	1,200	879
6	新任地区民生委員児童委員会会長研修	1	1	260	108
計 6 件		12	12	2,780	1,981

⑤受講者ふりかえりシート 結果

研修内容の理解度 (%)	97.1
講師の指導方法の適切さ (%)	96.6
研修内容の満足度 (%)	95.3
今後の業務への参考度 (%)	95.9
総 合 (%)	96.2

アンケート回収率 (%)	94.9
--------------	------

(2) 研修運営関連会議

研修事業をより円滑に進めるために、平成23年度から外部有識者を中心とする研修委員会を設置し、研修事業の方針、企画、進行管理等について協議をいただきました。

また、次年度研修の一部を委託するため、研修企画を公募し選定会議に諮りました。

①ウィリング横浜研修委員会

ウィリング横浜研修等実施要綱に基づき、各種事業推進の具体性を高めるため、研修委員会を実施し、企画、評価及び進行管理を行いました。

[委員構成：学識経験者2人、よこはま福祉・保健カレッジ関係機関2人、行政関係者1人、市社協（ウィリング横浜）1人 計6人]

<第1回>

開催日：平成28年7月1日（金）

内 容：平成27年度ウィリング横浜事業報告(素案)について
平成28年度研修等の年間スケジュールについて

出席者：委員4人

<第2回>

開催日：平成28年10月25日（火）

内 容：平成28年度研修事業中間振り返り（上半期）について
平成28年度各事業の進捗状況について
出席者：委員6人

<第3回>

開催日：平成29年1月31日（火）
内 容：平成28年度事業推進状況（平成28年12月現在）
平成29年度研修等計画（案）について
出席者：委員5人

②研修企画選定会議の開催

より質の高い研修企画の実現を目的として、ウィリング横浜研修等実施要綱に基づき、一部の研修講師を委託するため、研修企画選定会議を開催し、受託団体を決定しました。

開催日：平成29年3月21日（火）

内 容：平成29年度研修企画の選定について
・業務マニュアル作成・活用研修
・苦情対応基礎研修
・接遇研修（①初任者②中堅・チームリーダー）

出席者：3人（内訳：研修委員2人、管理運営担当職員1人）

(3) 福祉保健従事者養成のための相談の実施

横浜市内の福祉・保健事業者の職場内における職員研修の実施方法や講師に関する相談など、研修・人材育成に関する相談に対応しました。

相談受付件数 28件

(4) よこはま福祉・保健カレッジ事業

「よこはま福祉・保健カレッジ事業に関する覚書」を横浜市内の大学・専門学校・職能団体・NPO法人等と締結し、カレッジ講座の認定や連絡会議を開催しました。

また、事業企画分科会において連絡会議への提案や事業の企画等について検討を行い、ウィリングの主催研修とカレッジ認定講座のパッケージの検討や、人材確保に関する相互協力事業として「就職個別相談」や「福祉のしごと☆魅力発見！施設見学ツアー」を実施しました。

参画機関数

	26年度	27年度	28年度
参画機関数（団体）	17	17	18

※ウィリング横浜を除く

①カレッジ講座

講座数：178講座【内、ウィリング横浜主催研修8講座】※カレッジ170講座認定
受講者数：3,938人【内、ウィリング横浜主催研修340人】

②よこはま福祉・保健カレッジ連絡会議

<第1回>

開催日：平成28年6月30日（木）

内 容：代表・副代表の選出について

平成27年度よこはま福祉・保健カレッジ事業報告について

平成28年度よこはま福祉・保健カレッジ第1回事業企画分科会報告
について

各機関平成28年度事業計画について

その他、情報交換等

出席者：14機関17人

<第2回>

開催日：平成29年3月7日（火）

内 容：よこはま福祉・保健カレッジ事業企画分科会報告について

「第1回ウィリング横浜サントクフェスティバル福祉の魅力発見！～知
って つながり ひろげよう～」について

よこはま福祉・保健カレッジ認定講座のハマ・キャリ・ネットへの移行に
ついて

平成29年度「よこはま福祉・保健カレッジ事業に関する覚書」の締結に
ついて

「よこはま福祉保健カレッジ認定講座」に伴う平成28年度実績及び平成
29年度の周知について

その他、情報交換等

出席者：14機関15人

③よこはま福祉・保健カレッジ事業企画分科会

<第1回>

開催日：平成28年6月2日（木）

内 容：よこはま福祉・保健カレッジ連携事業について

よこはまの福祉保健研修情報サイト ハマ・キャリ・ネットについて

出席者：委員4人

<第2回>

開催日：平成28年9月7日（水）

内 容：よこはま福祉・保健カレッジフェア（仮称）について

出席者：委員4人

<第3回>

開催日：平成28年11月17日（木）

内 容：ハマ・キャリ・ネットの移行作業について

「第1回ウィリング横浜サントクフェスティバル 福祉の魅力発見！
～知って つながり ひろげよう～」について

出席者：委員4人

<第4回>

開催日：平成29年2月16日（木）

内 容：「第1回ウィリング横浜サントクフェスティバル 福祉の魅力発見！
～知って つながり ひろげよう～」について

平成28年度第2回よこはま福祉・保健カレッジ連絡会について

出席者：委員4人

(5) 福利厚生事業

○こころの相談室の開設

福祉保健関係者の福利厚生や職場環境の改善を目的として、カウンセラーによる相談事業を実施しました。相談が必要な方へ相談室の情報が確実に届くよう、事業の周知と浸透を図りました。

	26年度	27年度	28年度
開設日数(日)	99	99	99
利用件数(件)	154	139	141

(6) 研究事業

①調査研究事業

横浜における福祉保健事業向上のため、調査研究を行う団体を広く募集し、必要な場や情報を提供しました。個々の調査研究事業を支援するとともに、定期的に代表者連絡会を開催し、お互いの研究内容と成果を共有することで、横浜市内の福祉保健サービスの向上に努めました。

また、調査研究団体の研究成果をより多くの幅広い層に周知するため、「第1回サントクフェスティバル福祉の魅力発見！～知って つながり ひろげよう～」内で研究発表を行いました。

次期指定管理申請に向けて、第三者評価等で課題が指摘されている調査研究事業の目指すべき方向性の検討を行いました。

研修室 111 利用状況

	26年度	27年度	28年度
登録団体(団体)	8	10	10
利用実績(件)	106	105	88

②代表者連絡会の開催

年2回開催しました。

第1回：平成28年5月26日(木)

第2回：平成28年11月9日(水)

③研究発表大会の開催

調査研究団体が1年間の研究成果をポスターセッションの形式で発表しました。より多くの幅広い層に周知するため、よこはま福祉・保健カレッジ事業と福祉のしごと☆魅力発見！事業と連携した「第1回サントクフェスティバル」内で実施しました。

開催日：平成29年3月12日(日)

発表団体数：自主研究団体 8団体

参加者数：160人

(7) 福祉人材の確保・就業支援事業

福祉・介護に理解と意欲のある人材の確保・就労支援事業を目的として、市・県社協、ハローワーク横浜等の関係機関、団体の協力を得て実施しました。

①福祉・介護のお仕事個別相談

福祉・介護の求職者等を対象に個別相談を実施しました。

毎週月曜日 14:00～16:00

毎週金曜日 10:00～12:00

開催日数：88日 相談者：65人

②福祉保健人材の発掘

福祉求職者発掘のため、人材確保事業を実施する関係機関や「よこはま福祉・保健カレッジ」と協力し、大学、専門学校、養成校への情報提供やガイダンスを実施し、福祉人材を発掘し、確保及び求職支援を行いました。

○公益財団法人横浜市男女共同参画推進協会、女性のための福祉・介護のしごと相談
全6回 4人

○区社協就職相談会

5回【神奈川区、戸塚区（2回）、泉区、港南・南・磯子区合同】

相談延べ268人

○教育機関

1箇所（関東学院大学）ガイダンス65人

○その他

職業訓練事業所主催実務者研修受講者相談：延べ84人

職業訓練事業所主催実務者研修受講者ガイダンス：延べ126人

職業訓練事業所主催実務者研修受講者合同就職相談会：延べ42人

③福祉のしごと☆魅力発見！事業

福祉の仕事に就職を希望する方、福祉の仕事に関心のある方を対象に、福祉の仕事について、説明会及び相談会を実施し、福祉職場に対する理解を深めるとともに、福祉求職者を発掘し、人材確保につなげることをめざし、実施しました。また、福祉業界への就労に興味・関心のある方を対象に、福祉施設の見学と採用担当者および現場職員との交流を行うとともに福祉現場最新情報をお伝えする等、就労に向けた情報提供を行いました。

○福祉施設見学ツアー

開催日：平成28年10月26日（水）～11月30日（水）

参加者：22人 施設数：15施設

○職業訓練事業所主催実務者研修受講者合同就職相談会（再掲）

開催日：平成28年9月9日（金）

参加者：42人

○福祉施設就職説明会&相談会～福祉の資格を知ろう編～（サントクフェスティバル）

開催日：平成29年3月12日（日）

参加者：160人

④福祉施設・事業所等の訪問

下記を目的に市内の福祉施設等に出向きヒアリングを実施しました。

①ウィリング横浜主催研修へのご意見、ご要望の収集及び周知

②人材確保や育成状況及び施設内外の研修受講実績等の把握

③個別相談に活用するための求人・採用実態、職員構成等の情報収集

④「ウェルじゃん求人情報提供コーナー」の周知及び活用促進

⑤人材定着の施策、工夫についての情報収集

訪問件数 25件

⑤福祉保健交流スペース「ウェルじゃん」の運営

福祉に関する人々（福祉保健事業従事者、ウィリング横浜利用者、福祉に関心がある市民など）が交流を深めるきっかけの場、福祉に関する各種情報を提供する場として、ウィリング横浜12階交流スペースに設置しました。

- ◆「福祉・介護のお仕事 個別相談」（再掲）
- ◆書籍コーナー、広報紙・イベント情報コーナー、情報交換コーナーの開設
- ◆求人情報提供コーナーの開設

福祉関係の求人情報を常時提供しました。

- ・登録法人数： 30 法人
- ・求人情報提供数： 295 件

1 施設の運営に関すること

NO	評価項目	実績	評価
1	開館	357日	滞りなく開館することができました。
2	休館日	【通常休館日6日】 12月29日～1月3日 【臨時休館日2日】 6月26日、12月28日	開館時にはできない設備点検、備品確認等を行いました。
3	研修室等の貸出事業	別添 事業報告書 1P	研修室・討議室の稼働実績は、稼働率61.3%と目標の60%を上回ることができました。 一部の研修室において空調機器の不具合があり、7月から利用予約の受付及び利用の停止をしました。
4	急病・緊急時の対応	救急車要請：2件	会場貸出利用団体主催の研修等の参加者に2件の体調不良者が発生し、救急車の要請を行い、防災センターと連携し迅速に対応しました。
5	情報資料室の運営	別添 事業報告書 1P～2P	蔵書方針に基づき福祉保健関係の資料等について収集を進め、年度末時点で約66,000点を所蔵しています。 研修等のテーマに沿った図書展示を行う企画展を年4回開催しました。そのうち1回は、よこはま福祉・保健カレッジ事業の参加機関の研修へ出張し、また1回は人材確保事業、調査研究事業、よこはま福祉・保健カレッジ事業と連携した「第1回サントクフェスティバル」の中で実施し、情報を発信しました。 主催研修では研修テーマに沿った蔵書リストを参加者へ配付するとともに、研修室での蔵書展示を行ない、情報資料室の利用促進を行ないました。 利用促進のために区社協やケアプラザ等幅広く地域の方が利用される施設に周知依頼をし、ウィリング横浜の研修会場利用者へも窓口でチラシの配付を行い、情報資料室の周知に努めました。

6	ご意見・苦情等への受付	別添 事業報告書 2～3P	<p>館内4箇所を設置したご意見箱により、お客様からのご意見を受付しました。寄せられたご意見や苦情については、職員間で共有し改善に向けて対応をすると共に、対応の様子が分かるようにご意見と回答を館内掲示し、周知を行いました。</p> <p>また、11月に約1か月にわたり窓口満足度調査を実施しました。結果、満足度4点満点中3.7点の高評価をいただきました。これらの結果を踏まえ、より円滑な事業推進に役立てました。</p>
---	-------------	------------------	---

2 施設の維持に関すること

NO	評価項目	実績	評価
1	建物・設備機器修繕業務	別添 事業報告書 3P	<p>休館日や利用の無い部屋・時間帯を活用して定期点検を実施し、設備の保守及び小破修繕に努めました。修繕は26件実施し、適正な施設維持・管理を図りました。</p> <p>研修室を間仕切りするスライディングドア、照明器具や音響設備、空調設備など経年劣化による修繕が多く、今後も老朽化による修繕は増加することが予想され、大規模な設備更新が必要な時期にきています。</p>
2	清掃業務	別添 事業報告書 3P	<p>日常清掃については、円滑に行いました。</p> <p>定期清掃については、休館日や利用の無い時間帯を活用し、実施いたしました。</p>
3	水質管理業務	別添 事業報告書 3P	<p>水質管理については、適切に管理しました。</p>
4	警備関係業務	別添 事業報告書 3P	<p>不審者や迷惑行為への対応について、防災センターと連携し迅速に対応しました。</p>

3 施設で実施する事業に関すること

NO	評価項目	実 績	評 価
1	研修事業	別添 事業報告書 3～8P	<p>福祉保健従事者や活動者を対象に、「よこはま福祉人材指針」に基づく人材育成を推進するため、研修のコンセプトである「組織力の向上と地域福祉の推進」の実現に向け、全 63 件の研修を実施しました。昨年度から設けた「地域力を高める」において、引き続き社会福祉法人の地域貢献活動や地域福祉活動者の支援を強化しました。</p> <p>また、研修委員会で研修を含めた各事業の評価及び進行管理と研修評価を行いました。接遇等一部の研修については、研修の効率化を図るために本会で企画立案した研修内容を示して公募を行ない、次年度研修に反映させました。</p> <p>研修満足度については、96.2%の高い満足度を得ることができ、研修毎に設定した研修目標や研修意義についての理解が進み、充実した研修が提供できました。</p>
2	よこはま福祉・保健カレッジ事業	別添 事業報告書 8～9P	<p>カレッジ講座を 178 講座開設しました。</p> <p>カレッジ連絡会議を 2 回開催し、分科会の報告に基づきお互いの役割や機能を確認し、意見交換を行いました。</p> <p>カレッジ事業企画分科会は年 4 回実施しました。カレッジ事業の中では、平成 28 年度に初めて人材確保事業及び調査研究事業・情報資料室と連携をした「第 1 回サントクフェスティバル」についての検討を行い、開催することによって、カレッジ事業の活性化を行いました。</p> <p>また、よこはまの福祉保健研修情報サイト ハマ・キャリ・ネットへカレッジ認定講座を掲載する方法を構築しました。</p>
3	福利厚生事業	別添 事業報告書 10P	<p>福祉保健従事者を対象とした相談室事業「こころの相談室」については、今年度新たな周知の方法に取組み、相談件数は微増となっています。</p> <p>また、開催曜日と時間数について検討を行ない、次年度は利用の少ない土曜の 4 時間分から平日へ 2 時間分を充てることとし、利用可能な日数を増やす整理を行ないました。</p>

4	研究事業	別添 事業報告書 10P	<p>研究の成果を多くの人に周知するため、「第1回サントクフェスティバル」において研究発表を行ない、160名の参加がありました。</p> <p>また、これまでの研究事業を振り返りこれからの方向性について検討する「福祉保健研修交流センターウィリング横浜調査研究事業あり方検討会」を設置し、3回開催しました。</p>
5	福祉人材の確保・就業支援事業	別添 事業報告書 10～12P	<p>福祉・介護に理解と意欲のある人材の確保・就労支援事業として、区・市・県社協、ハローワーク横浜等の関係機関、団体と連携し個別相談や合同相談を行いました。採用者対象研修、現場で働く様子を直接見学できる福祉施設見学ツアー等を実施し、急務である福祉人材確保につながるよう努めました。</p> <p>また、「第1回サントクフェスティバル」において福祉の国家資格保持者によるパネルディスカッションと個別相談会を行ないました。</p>

平成28年度 福祉保健研修交流センターウィリング横浜 収支決算書

収入

項目	指定管理	指定管理外	合計	内部取引消去	内部取引消去後 合計	備考欄
受託金収入	161,416,143	6,510,000	167,926,143	0	167,926,143	
横浜市指定管理料	161,416,143	0	161,416,143	0	161,416,143	
横浜市受託金収入	0	6,510,000	6,510,000	0	6,510,000	
分担金収入	32,436	209,773	242,209	0	242,209	
事業収入	71,499,406	39,619,707	111,119,113	△ 3,011,870	108,107,243	
参加費収入	10,053,160	38,047,500	48,100,660	△ 17,160	48,083,500	研修参加費
利用料収入	59,053,825	0	59,053,825	△ 2,994,710	56,059,115	研修室等利用料
広告料収入	0	0	0	0	0	
手数料収入	2,392,421	1,572,207	3,964,628	0	3,964,628	運送業務代理受付手数料等
負担金収入	787,610	0	787,610	0	787,610	
利用料等負担金収入	440,070	0	440,070	0	440,070	利用者用コピー機、情報資料室売上
負担金収入	347,540	0	347,540	0	347,540	研修テキスト代等
受取利息配当金収入	444	0	444	0	444	
雑収入	6,368	0	6,368	0	6,368	公衆電話通話料収入等
サービス区分間繰入金収入	0	33,000,000	33,000,000	△ 33,000,000	0	
収入計	233,742,407	79,339,480	313,081,887	△ 36,011,870	277,070,017	

支出

項目	指定管理	指定管理外	合計	内部取引消去	内部取引消去後 合計	備考欄
人件費支出	111,672,181	9,239,200	120,911,381	0	120,911,381	
職員給料支出	57,773,240	6,050,400	63,823,640	0	63,823,640	
職員俸給	49,698,300	4,908,000	54,606,300	0	54,606,300	
職員諸手当	6,084,070	976,000	7,060,070	0	7,060,070	
通勤手当	1,990,870	166,400	2,157,270	0	2,157,270	
職員賞与支出	13,018,120	1,811,200	14,829,320	0	14,829,320	
非常勤職員給与支出	27,090,691	176,000	27,266,691	0	27,266,691	
法定福利費支出	13,790,130	1,201,600	14,991,730	0	14,991,730	社会保険料
事業費支出	99,488,557	27,006,753	126,495,310	△ 2,994,710	123,500,600	
水道光熱費支出	25,180,453	0	25,180,453	0	25,180,453	
消耗品費支出	3,846,865	725,408	4,572,273	0	4,572,273	事務用品等
器具什器費支出	458,632	1,091,392	1,550,024	0	1,550,024	椅子、映像・音響機器等
保険料支出	140,200	0	140,200	0	140,200	施設賠償保険等
賃借料支出	1,423,216	4,219,168	5,642,384	△ 2,993,000	2,649,384	図書管理システム用機器、AEDリース等
諸謝金費支出	4,979,640	10,955,125	15,934,765	0	15,934,765	講師謝金等
旅費交通費支出	317,869	69,473	387,342	0	387,342	職員業務出張旅費
印刷製本費支出	1,374,574	1,568,563	2,943,137	0	2,943,137	研修資料印刷費等
修繕費支出	1,644,830	404,471	2,049,301	0	2,049,301	館内設備修理
通信運搬費支出	1,953,807	907,221	2,861,028	0	2,861,028	研修受講通知等送付、電話料金等
会議費支出	232,200	1,555,345	1,787,545	0	1,787,545	費用弁償等
広報費支出	116,400	44,262	160,662	0	160,662	
業務委託費支出	44,349,920	700,862	45,050,782	△ 1,710	45,049,072	施設保守管理費等
手数料支出	1,620,729	2,563	1,623,292	0	1,623,292	振込手数料等
租税公課支出	9,985,124	736,000	10,721,124	0	10,721,124	消費税等
教材費支出	0	3,965,760	3,965,760	0	3,965,760	研修テキスト購入
蔵書購入費支出	1,842,282	0	1,842,282	0	1,842,282	情報資料室図書等購入
雑支出	21,816	61,140	82,956	0	82,956	
事務費支出	393,424	24,800	418,224	△ 17,160	401,064	
福利厚生費支出(事務費)	288,390	24,800	313,190	0	313,190	健康診断費用等
研修研究費支出(事務費)	84,514	0	84,514	△ 17,160	67,354	
広報費支出(事務費)	20,520	0	20,520	0	20,520	
分担金支出	0	0	0	0	0	
負担金支出	7,000	0	7,000	0	7,000	
その他支出	0	0	0	0	0	
雑支出	0	0	0	0	0	
固定資産取得支出	291,600	0	291,600	0	291,600	
事業区分間繰入金支出	6,098,235	18,083,965	24,182,200	0	24,182,200	退職積立金、法人共通経費
サービス区分間繰入金支出	0	33,000,000	33,000,000	△ 33,000,000	0	
支出計	217,950,997	87,354,718	305,305,715	△ 36,011,870	269,293,845	

収入計-支出計	15,791,410	△ 8,015,238	7,776,172
前期末支払資金残高	18,028,587	67,102,272	85,130,859

当期末支払資金残高	33,819,997	59,087,034	92,907,031
-----------	------------	------------	------------